

2022

# 丹(まごころ)の里人権のつどい

12月5日(日)春日文化ホールにおいて、丹波市、丹波市人権・同和教育協議会など6団体の主催で「2021年丹(まごころ)の里人権のつどい」を開催しました。このつどいは、市民一人ひとりがそれぞれの個性や多様な価値観を認め合い、助け合い、学び合いながら人権文化の根づく「共生社会」の実現をめざしたものです。

はじめに中学生人権作文表彰・朗読では谷垣葵衣さん(柏原中学校)が「本当の自分でいられる社会に」について、蘆田颯士さん(青垣中学校)が「障がい者への偏見」について発表しました。

次に人権活動事例発表では、兵庫県立柏原高等学校インターアクト部顧問 久保哲成さんが「インターアクト部を指導して」と題して発表しました。

人権講演会では、弁護士 住田裕子さんから「変革期の今、人・意識、どう変わる」というテーマでご講演いただきました。コロナ禍における小中高生の自殺、働く女性の自殺、社会からはじかれたと思われる人々による凶悪殺人事件、日本人の自己肯定感の低さなど、現代日本が抱えている課題を具体的に示しつつ、社会の中で人と人がつながるために共感性が大切と話を結ばれました。

また、講演の最後にはご自身の著書「シニア六法」を5人の方に抽選でプレゼントしていただくサプライズの時間もあり楽しい雰囲気の中、講演会は終了しました。

本誌では、兵庫県立柏原高校インターアクト部顧問 久保哲成さんの発表を紹介します。



弁護士 住田裕子さん

## ■ 活動事例発表 「インターアクト部を指導して」 県立柏原高等学校 教諭 久保哲成さん

インターアクト部は、アメリカで誕生したインターアクトクラブに由来します。インターアクトクラブの役割は、社会奉仕、つまり地域(国内)におけるボランティア活動と国際(異文化)理解・国際交流です。

生徒は出会いから多くのことを学びます。生徒が日常的に出会う大人は家族や教師がほとんどですから、園児・小学生・老人・外国人・障がいのある方など、多くの人と出会うことを大切に指導しています。黒板より人から学ぶことのほうがずっと多いのです。

ボランティアといえば、すぐゴミ拾いを連想される方も多いと思いますが、ゴミは生徒に笑顔を返してくれません。また、高校生のボランティアは安価な労働力ではありません。ボランティアを依頼される側は、高校生の異文化接触・理解を促せる要素があるかを考えて依頼してほしいと思っています。

私が指導で大切にしていることについてお話します。

「エンジョイ・ボランティア!!」楽しくなければボランティア活動ではありません。これまでの奉仕活動の意識を打ち払い、楽しんでほしいと思っています。その楽しさから生まれる笑顔は国境・文化・民族の壁を越えていきます。笑顔こそ、高校生ボランティア最大の武器です。そのためにも、明朗快活なあいさつをしっかりする、やはり、第一印象が大切なのです。

次に、目線は相手に合わせることを。子どもや障がい者を上から目線で見てはいけません。また、顧問教師が常にそばにいてはなりませんから、わからないことがあったら、近くの人に相談することも忘れないようにしてほしいです。

活動の最後には感想を生徒に求めるのですが、「良い経験ができました」とは絶対言わないように指導しています。自信をもって、自分の言葉で自分の学

びを語ってほしいです。

私がボランティア活動で学んだことをお話します。

生徒は光の速さで成長します。生徒の能力は大人の想像をはるかに超えています。偏見の壁も見事に、鮮やかに乗り越えていきます。生徒は私に「人を信じることの大切さ」を教えてくださいました。

「今の自分がちょっぴり好きになりました」これはある活動後に生徒が言ってくれた言葉です。ボランティア活動を指導してきて本当によかったと思います。



- 人権を考える色々なキーワードを教えてください、大変有意義な時間が持てました。『人権』という言葉で言うのは簡単ですが、こうして学習することがやはり大事だと思います。
- 人権に関して学ぶたびに視野が広がります。生きていく中で自分も他者も大切にすべきであることを今日改めて気づかされました。
- 参加している方の年齢層が高いように思いました。若い人たちにも多く参加してもらえらる取組があるといいと思いました。

- 中学生の素直な気持ちを聞いてうれしく思いました。
- 私は70代ですが、人権の考え方も時代とともに変化していることを肌で感じました。中学生の作文朗読を聞き、今の子どもは本当にしっかりしていると感じました。我々がついていくのがやっとです。将来が楽しみだと思います。



- 柏原高校インターアクト部、久保先生の「高校生のボランティアは安い労働力ではない」という言葉が印象的でした。地域で子どもを育てる重要性を感じました。
- エンジョイ ボランティア、今の自分がちょっぴり好きになりました。

- 住田裕子さんの講演を聞いて、今の社会が「多様な価値観を示しながら、ものさしがとても小さいのでは？」という問題提起がとても分かりやすかったです。
- 人権意識を高めること=共感すること、共感しようとするものなのだと思います。「あなたはすごい!」と評価するものさしは人の数だけあっていいと子どもたちに伝えていきたいと思いました。

長年の知識と確かな技術と自由な発想  
新しい業務スタイルを提案します。

**防犯カメラ**  
防犯設計から施工まで徹底サポート! 安心と安全のために

**オフィス全体のセキュリティ対策**  
○情報漏えい ○不正アクセス ○なりすまし ○迷惑メールブロック等  
○データ改ざん等ブロック  
UTM(総合脅威管理アプライアンス)  
Unified Threat Management

株式会社 ユニットシステム  
UnitSystem Corporation  
https://www.unitssystem.jp  
E-mail: info@unitssystem.jp

日本の旅 / 世界の旅 予約受付中  
あなたの旅を応援します!

団体旅行・グループ旅行・個人旅行などお気軽にご相談下さい  
● JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行などの海外パック旅行/国内パック旅行の手配  
● 宿泊のみの手配や食事・観光施設の手配も行います  
● 貸切バス・航空券・JR券・フェリー券など各種船券の手配もいたします  
● 格安海外航空券・海外のホテルの手配・パスポートの代理申請  
など幅広いご要望にお応えいたします

○お申込み・お問い合わせ 丹波市柏原町柏原(JR柏原駅構内) 電話での申し込みは郵送付(19時無料)をご利用ください

**関西旅行社**  
TEL (0795) 72-0325 FAX (0795) 72-2416  
E-mail: info@kansairyoko.co.jp

エース トラベル JTB Knci 日本旅行

### 編集後記

“ありがとうは奇跡の言葉である。口に出せば元気が出る。耳に入れば勇気がわく”これは、ある詩人が友へ贈ったメッセージです。「ありがとう」は感謝の気持ちを伝え、人と人との心をつなぎ、暗を明に変える言葉です。発した側、受けた側、ともに心地よく生きる活力が湧いてきます。

市民一人ひとりがそれぞれの個性や多様な価値観を認め合い、助け合い、学びあひながら人権文化の根づく「共生社会」の実現も一人ひとりの「ありがとう」から始まると思います。

2021年度も市同教の活動にご支援・ご協力をいただきありがとうございました。心より感謝・お礼申し上げます。

